

昨年引き続き『東京ゲームショウ2009』で展示

年齢別レーティング制度の更なる周知に向けて

パネル展示とチラシ配布を実施

2009年9月24日から27日までの4日間、社団法人コンピュータエンターテインメント協会(略称:CESA)の主催、日経BP社の共催、経済産業省の後援のもとに『東京ゲームショウ2009』が、千葉県の幕張メッセで開催されました。

前半2日間はゲーム業界関係者と報道関係者のためのビジネスデイ、後半2日間は一般公開日で、来場者数は18万5030人を記録しました。

この4日間、『八都県市青少年を守るためのゲームソフトに関する協議会』は、協働の取組として、昨年引き続き、「年齢別レーティング制度」を周知するパネルを展示するとともに、パネルと同じデザインの周知用チラシの配布を行いました。

